



笠岡市議会議員 坂本りょうへい市政報告

つよくて やさしいまち かさおかへ

Vol.10

6月定例議会が終了しました。今回より新しい紙面でご報告させていただきます。

スポーツでまちづくりを考える

With コロナを見据え、新たな人流を確保し、賑わいを創出するために、今回はスポーツという観点からまちづくりを質問をしてみました。

☞ 笠岡市では年間を通じてバレーボールやサッカー、野球など公式戦が開催されているが単発に終わらず、笠岡のスポーツ振興にどうつなげるの？

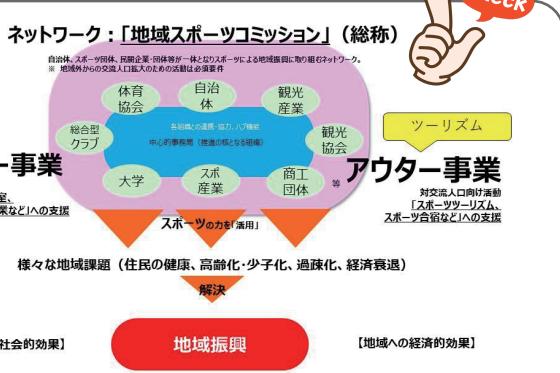
市 プロ選手による出前講座や教室、交流事業など身近に感じてもらい子ども達が夢をもって目指してもらえるように年間を通じた計画をしていきます。

☞ スポーツ大会や合宿の誘致は新たな人流やシティプロモーションの場となります。今後の組織じゃ縦割りすぎて横の連携が取れていないです。スポーツ協会や観光協会、行政やクラブチームなど官民一体型の地域スポーツコミッショ（ネットワーク団体）設立を検討しませんか？

市 笠岡らしい取組の仕方を検討し、地域が一体となって、またスポーツを通して笠岡市を盛り上げていくよう各課とも連携しながら考えていきます。

☞ 競技スポーツだけでなく生涯スポーツの普及にも力をいれ市民の健康増進にもつなげてほしい、利用しやすい環境整備をしてほしいです。

市 スポーツを柱にしたまちづくり、まちの健康寿命の延伸をふまえ多くの市民にスポーツを楽しんでいただけるように基盤を作っていくたいと思います。



引用：スポーツ庁 地域スポーツコミッションより

まちづくりは色々な角度から考えることができます。
未来につながる提案をこれからもさせていただきます。

皆様の声、地域の声を教えてください。
皆様の声を活動の指針として参ります。

6月議会で決定したこと

今回、提案された内容は一般会計補正予算とコロナ対策における補正予算となります。また、笠岡市まちづくり協議会条例の制定や議員報酬についての請願書が提出がされました。否決・不採択となりました。

【一般会計補正予算】抜粋して紹介します。

70周年記念 NHK（新・BS 日本のうた）の公開収録：77万円

子宮頸がん予防ワクチン接種事業：1,539万円

消防団活動備品整備（3分団に雨合羽支給）：108万円

笠岡東公民館倉庫解体：712万円

Vリーグ女子バレーボール仮設観客席設営：310万円

総合体育館空調更新：352万円

☞ 削除した案件は、かさおかイノベーションリーダー養成塾、井戸平左衛門賞の合計570万円。3月定例議会で様々な意見から厳密な結論を出し削除したものだが、結論を無視するよう同様の内容で6月に再度提出されています。

【新型コロナウイルス対策補正予算】

新型コロナウイルス対策予算の事業化は以下の通りです。

子育て世代支援（臨時給付5万円）：6,000万円

放課後児童クラブICT化推進事業：60万円

私立保育園施設の感染防止対策：260万円

放課後児童支援員待遇改善：260万円

保育士等待遇改善：1,745万円

児童福祉施設感染防止対策：360万円



新型コロナワクチン接種事業：8,867万円

※コロナワクチン接種4回目はモデルナ8ファイザー2の割合で確保

学校や就学前施設の給食等物価高騰分補助：806万円

財源：新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金

新型コロナウイルスの感染拡大の防止や感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等を行うため、令和2年度に創設された国の交付金です。

交付金を活用し感染症対策や雇用・経済対策などに関する事業を行います。



【運動部活動の地域移行について】

2025年から休日における運動部活動の地域移行について今後の対応を確認したところ本年8月に学校代表の先生や地域のスポーツ指導者及び関係部局等による検討委員会を立ち上げることになりました。

kasaoka.mirai@gmail.com

笠岡市まちづくり協議会条例の否決について

今回、継続審査となっていた笠岡市まちづくり協議会条例の審査が行われ否決となりました。この条例は、笠岡市自治基本条例において、まちづくり協議会の立ち位置を明確化するものがありました。

否決理由として既存する条例と内容が似ている、同様の条例を複数施行することで混乱を招く等としています。まちづくり協議会発足より10年、見直し検討委員会により策定した条例についてこのような結果になってしまったことは残念ではありますが、各地区まちづくり協議会の活動が地域の活性につながり、市民によるまちづくりの根幹となってほしいと思います。また我々議員も真摯に受け止め今後の地域活性にどのように対応していくのか再考が必要だと思います。

笠岡市議會議員の報酬引き上げ（令和4年4月から月50万円）を実施せず現行のまま据え置くことを求める請願について

請願者と紹介議員との間に意思共有ができるおらず継続審査となっていた事案は不採択となりました。

当請願は2,000名を超える署名を添えて提出されており慎重に取り扱いをしなければならない案件として担当委員会でも慎重審議をして参りました。結果として請願者の求め内容になっていること、また1年ごとの見直しにより財政状況や経済情勢を加味しながら調整ができるようにしていることを理由に不採択としました。

これまで議員報酬の改定は平成5年40万円、平成7年改定後42万円、令和2年改定後50万円となっています。現在は10%減額の45万円（所得税控除後332,520円）です。議員報酬については賛否あり、中には無報酬でという方もおられます。それだけ議員が身近ではないこと、議員活動の見える化できていないことも理由にあるのではないかと感じています。今後は定数の見直しや定年制など議論もしつつ2元代表制である議会の役割を皆様に理解いただけるようにしていかないといけないと思います。

子育てステーション整備・運営事業について

笠岡市が取り組もうとしている大型事業の一つです。商業施設に子ども達のスペースを設け、そこに行政相談窓口を整備する事業。モデルは広島県府中市や福山市の取組みを本市に導入するとして既存施設整備8,000万円、家賃を含む年間運営費2,640万円であり初年度は1億円が予算計上され、次年度からは毎年3,000万円の費用が掛かります。2021年の出生数は179名と過去最低となり当事業の目的はその出生数を増やすことだと答弁しています。

それだけのお金をかけるのであれば既存施設の集約整備や民間企業との連携、子育て施策拡充など子育てしやすい環境整備をするなど優先順位があるのではないかと感じています。



どうなる!?市民病院の今後

昭和38年9月に現在の場所へ移転し運営している笠岡市立市民病院は現在建替等の協議を行っており、新病院開院までの基本構想（案）が発表されています。開院予定は令和8年とされていますが、それまでには基本構想・基本計画・基本設計・実施設計・建築工事へと建設だけでも多くの工程を経てかつ、内部の再編やスタッフの育成や専門医の確保など多くのハードルをクリアしていかなければならず、まだまだ議論が必要です。また建替えの場所は現在の場所が望ましいとしていますが、駐車場の問題や敷地の一部が土砂災害警戒エリアであるなど検討が必要、病床数も99床を維持とするとして建設を考える場合は約50億もの費用が必要であると考えられ、この財源は地方債や補助金の活用を検討するとしています。

市民が安心して暮らしていくためにも医療施設の充実は必要なものです。投資するハード・ソフト両面から納得いくものにしていかなければと思います。

50億もの費用をかけて病院の建替えをするであれば内地の安全な場所へ規模を縮小しても新築した方が安価で済むのではないかと感じます。市内における入院患者は市内の医療機関52%、市外の医療機関が48%というデータがあり、隣接する福山市やバイパスで利便性も増す倉敷市などと医療連携を図りハイブリッド的役割をする病院とともに生き残るやり方ではないかとも感じます。（あくまで持論）今後の事業管理者を含め関係者の柔軟な発想を期待したいと思います。

（国民健康保険被保険者・後期高齢者被保険者レセプトデータより）

新型コロナワクチン接種について

新型コロナワクチンである武田社製ワクチン（ノババックス）の接種体制が整備されました。

ノババックス社が開発したワクチンを武田薬品工業株式会社より薬事承認申請されたものであり、2022年4月19日に薬事承認されています。

対象者：1～3回目接種を希望する18歳以上の方

機関：おぐるすハートクリニック（7/14から実施）

1回目接種から対象

予約：直接連絡

機関：笠岡中央病院（7/15から実施）

3回目接種のみ対象

予約：市コールセンターもしくはWEB予約



つよくて やさしいまち ガさあがへ

【訂正とお詫び】

前号（2022年4月）でお知らせした未来こども教育基金積立金事業の金額に記載誤りがありました。

誤：10,000万円 正：1,000万円

発行年月：令和4年7月

発行責任者：坂本りょうへい

岡山県笠岡市大宜605

電話：0865-66-1818

